

2025年度

第3四半期 決算の概要

2026年2月2日



ともに挑む。ともに実る。

〈みずほ〉とアート

〈みずほ〉は、東京藝術大学と連携し、「アートでもっと元気に」、「アートをもっと身近に」、「アートの力で変わりたい」をコンセプトに掲げ、ジェンダーフリー や ウェルビーイング の実現、イノベーション創出などの社会的な課題の解決に貢献するとともに、経済だけでなくアートも文化も持続性ある豊かな社会を共創していくことを目指しています。

今回、東京藝術大学デザイン科の学生の方に、〈みずほ〉のパーカス「ともに挑む。ともに実る。」から得た着想を具現化していただきました。

株主・投資家の皆さま向けの決算資料の表紙にアート作品を掲載するのは、2023年11月を初の試みとし、今回が10作品目です。



作 者 戸袋 結珠音

東京藝術大学 デザイン科 修士1年

作品名 「読み解く」

人と人が共に歩み出していくさま
手を取り合って笑っている顔
楽しげに踊る人々

あなたはここに描かれた図形にどのようなイメージを見出したでしょうか

複雑に絡み合った社会を読み解き、想像してきたみずほグループの姿勢を
何にでも見えそうで何者でもないグラフィックを読み解き想像する体験
として表現しました

決算の概要

(億円)

	25/3Q累計	前年同期比
A 連結粗利益 ¹	❶ 26,246	+3,177
B 経費 ²	❷ △15,040	△1,334
C 連結業務純益 ¹	❸ 11,482	+1,840
D うち顧客部門	7,895	+1,357 ⁴
E うち市場部門	3,020	+630 ⁴
F 与信関係費用	❹ △523	△908
G 株式等関係損益 ³	1,600	+455
H 経常利益	12,546	+1,281
I 特別損益	685 ⁵	+278
J 親会社株主純利益 (ご参考)	❺ 10,198	+1,645
K 東証基準ROE ⁶ (直近12カ月)	❻ 9.6%	+0.9%
L 経費率 (B÷A)	57.3%	△2.1%

1. ETF関係損益等457億円（前年同期比+44億円）を含む 2. 臨時処理分等を除く 3. ETF関係損益等を除く 4. 前年度の計数をFY25管理会計ルールに組み替えて算出
5. 退職給付信託返還益562億円（前年同期比+515億円）を含む 6. その他有価証券評価差額金を含む

❶ 連結粗利益 : YoY+13.7%

日銀政策金利引き上げによる資金利益の伸長継続に加え、非金利ビジネスの好調、市場部門の着実な伸長により大幅増益

❷ 経費 :

引き続き適切な経費コントロールには注力も、成長領域やガバナンス等経営基盤の強化に向けた資源投下は継続、前年同期比増加

❸ 連結業務純益 : YoY+19.0%

顧客部門、市場部門ともに好調に推移し、前年比+1,840億円の着地。11月に開示した業績見通し13,500億円に対し85%の進捗

❹ 与信関係費用 :

一部個社での与信費用発生、フォワード・ルッキング引当残高増加に加え、前年度3Q時点では低位に推移した影響から前年同期比マイナスにて着地

❺ 親会社株主純利益 : YoY+19.2%

与信関係費用で費用発生となるも、業務純益の好調推移に加え政策保有株式の売却益等も寄与し、前年同期比+1,645億円で着地。11月に開示した業績見通し11,300億円に対し90%の進捗

❻ 東証基準ROE :

順調な利益拡大を踏まえ前年同期比+0.9%ptと着実に良化

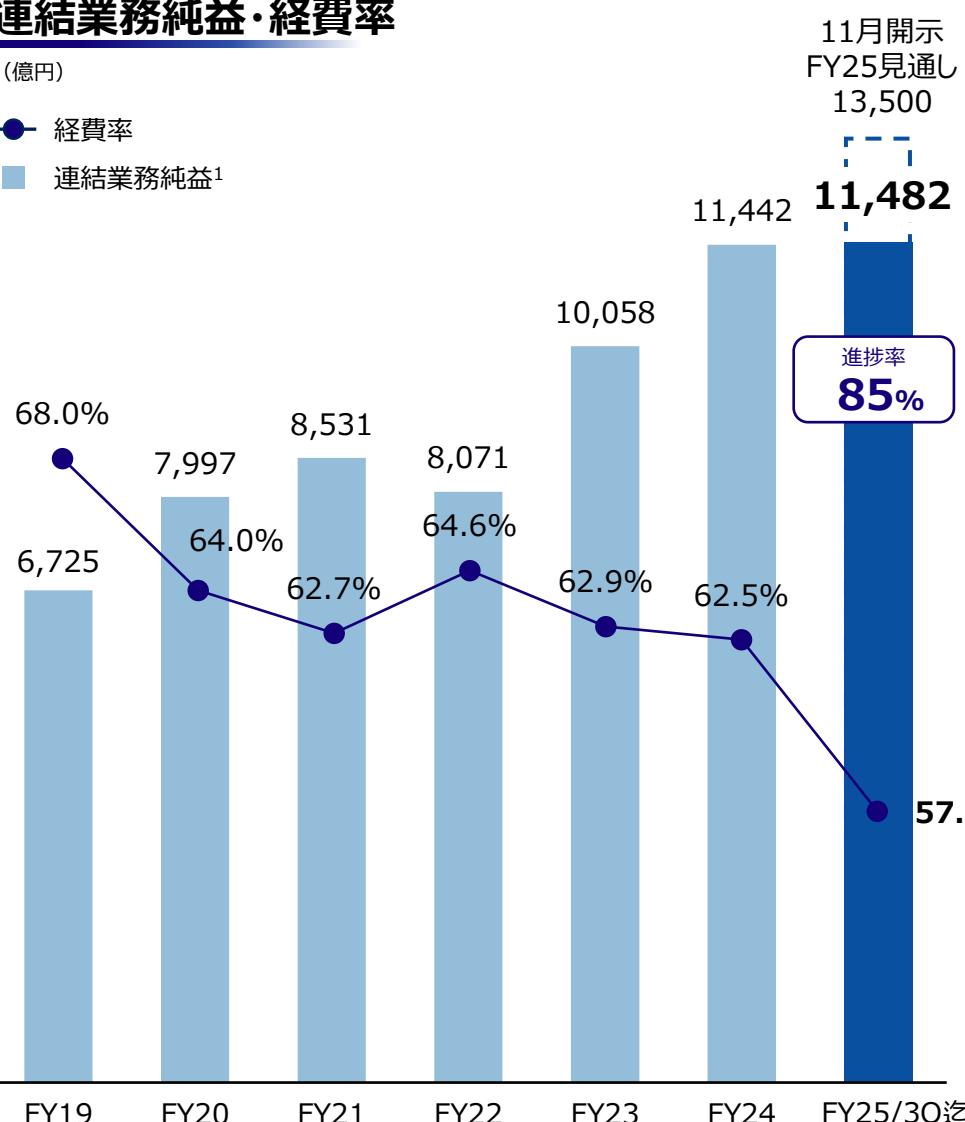
業績推移

連結業務純益・経費率

(億円)

● 経費率

■ 連結業務純益¹

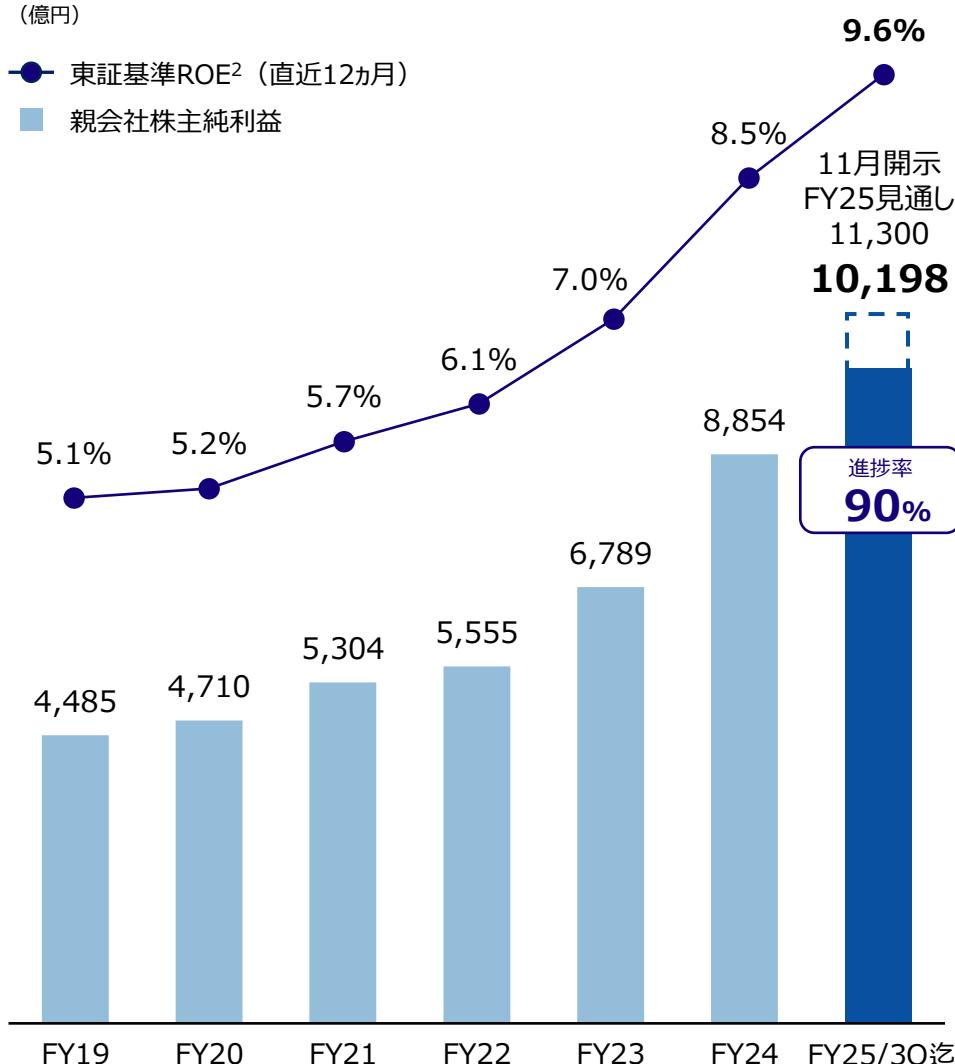


親会社株主純利益・東証基準ROE

(億円)

● 東証基準ROE² (直近12カ月)

■ 親会社株主純利益



1. ETF関係損益等を含む 2. その他有価証券評価差額金を含む

カンパニー別業績

(億円、グループ合算、速報値)

	業務粗利益		経費		業務純益			四半期純利益		
	25/3Q 累計	前年同期比 ¹								
顧客部門	19,016	+2,191	△11,386	△844	7,895	+1,357	+21%	6,582	+491	+8%
RBC	6,918	+1,041	△5,492	△354	1,482	+686	+86%	1,003	+51	+5%
CIBC	5,086	+708	△1,824	△82	3,359	+647	+24%	3,585	+535	+18%
GCIBC	6,462	+331	△3,709	△331	2,930	+16	+1%	1,840	△207	△10%
AMC	550	+111	△360	△77	124	+8	+7%	154	+112	+270%
市場部門 (GMC) ²	5,968	+913	△2,948	△283	3,020	+630	+26%	2,124	+459	+28%
うちバンキング ²	2,195	+747	△384	+25	1,811	+773	+74%			
うちセールス&トレーディング	3,773	+166	△2,564	△309	1,209	△143	△11%			

1. 前年同期の計数をFY25管理会計ルールに組み替えて算出 2. 2行合算のETF関係損益を含む

B/Sの概要¹ (25年12月末)

総資産 297兆円 (+14.2)

貸出金

98 (+4.5)

有価証券

41 (+7.2)

日本国債	13.0 (+4.2)
外国債券	18.0 (+2.1)

その他

157 (+2.4)

現金・預け金	61.0 (△11.3)
うち日銀預け金 ²	46.0 (△9.2)

預金・譲渡性預金

174 (+1.3)

前年同期比	
国内円貨 ²	118.5 (△5.2) (△0.6)
うち個人	49.4 (+0.7) (△0.0)
うち法人	69.0 (△5.9) (△0.5)
国内外貨 ²	4.0 (+0.5)
海外 ³	51.9 (+6.0)

その他

111 (+12.2)

純資産

11 (+0.7)

うち外貨建て⁴

- 貸出金を顧客預金と社債・通貨スワップ等の安定的な中長期調達でカバー

5,250億ドル (+40)

貸出金⁵

2,802 (+333)

顧客預金⁵

2,099 (+214)

国内+海外日系	約50%
海外非日系	約50%
米州	約20%
EMEA	約10%
APAC	約20%

中長期調達⁶
1,018 (+82)

有価証券

1,040 (+30)

市場性調達⁷

1,181 (△412)

その他

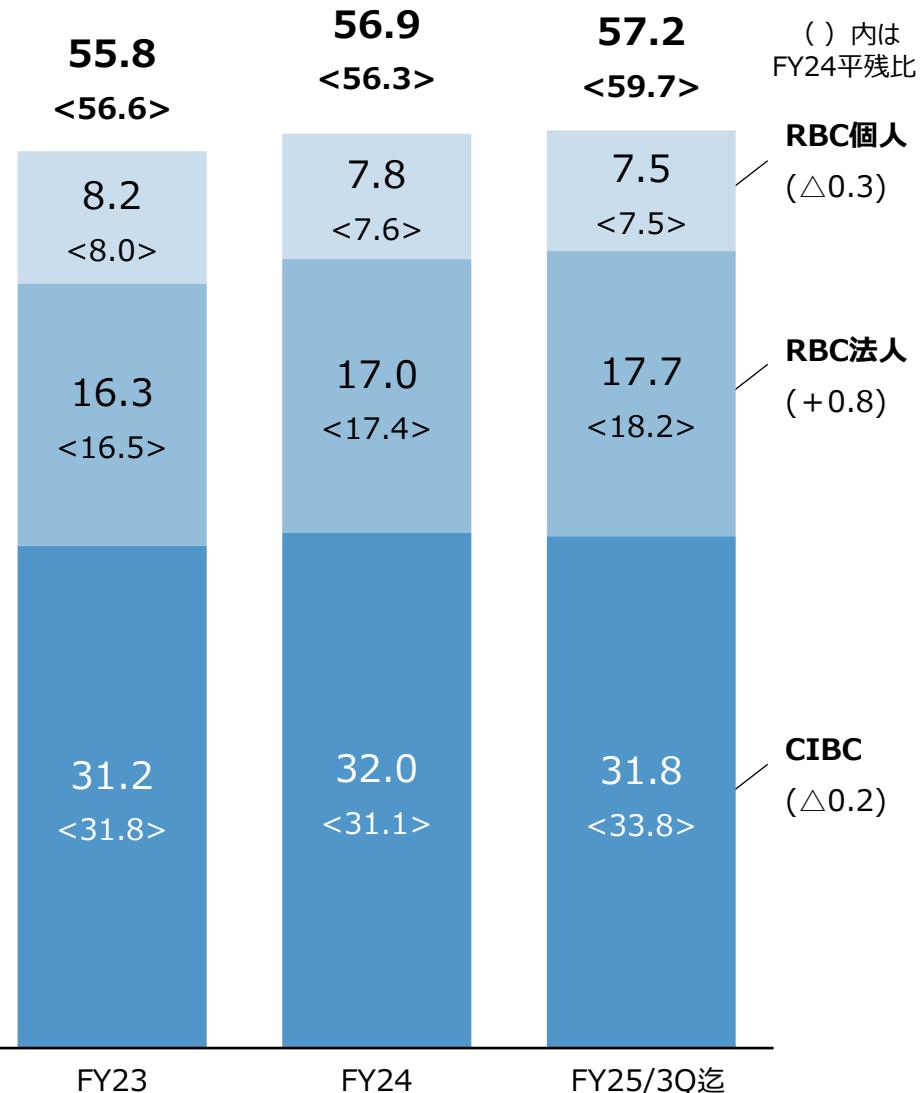
1,408 (△323)

CD・CP
951 (+155)

1. () は25/3末対比 2. 2行合算 3. 海外支店、その他海外子会社等 4. BK+TB (FY25管理会計ルール) 5. 海外現地法人、国内を含む 6. 社債、通貨スワップ等 7. レポ、インターバンク、中銀預金等

国内貸出金¹

(兆円)



上段：平残
<下段>：未残

() 内は
FY24平残比

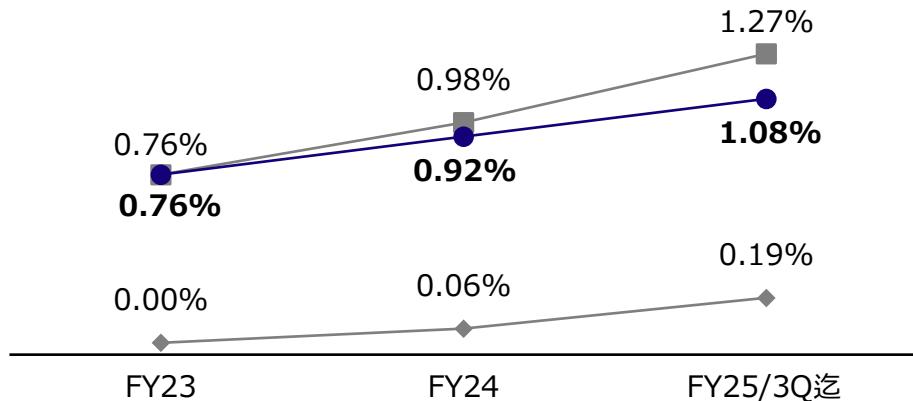
RBC個人
(△0.3)

RBC法人
(+0.8)

CIBC
(△0.2)

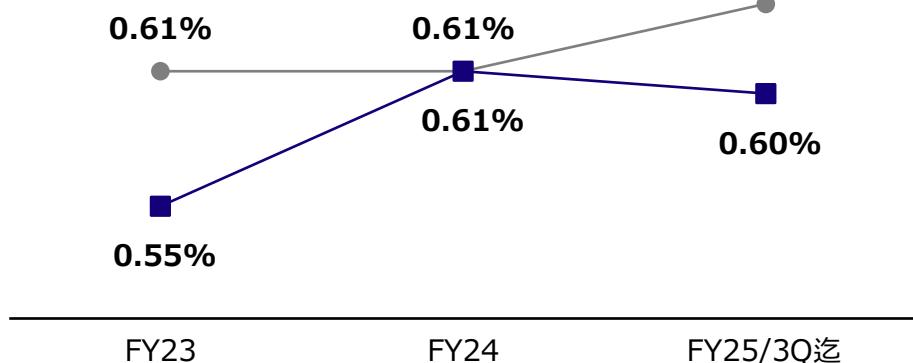
預貸金利回差²

- 貸出金利回…a
- ◆ 預金利回…b
- 預貸金利回差…a-b



貸出金スプレッド

- RBC法人
- CIBC



1. BK+TB、FY25管理会計ルール (FY23~FY24は遡及修正)、グループ内貸出金・政府等向け貸出金を除く 2. 2行合算、金融機関 (FGを含む)・政府等向け貸出金を除く、国内業務部門

海外貸出金¹

(億ドル)

2,429

<2,284>

489

<455>

1,051

<1,021>

890

<808>

2,356

<2,316>

456
<452>

1,043
<1,055>

2,382

<2,457>

432
<459>

1,093
<1,114>

上段：平残
<下段>：未残

() 内は
FY24平残比

EMEA
(△24)

Americas
(+50)

APAC
(△0)

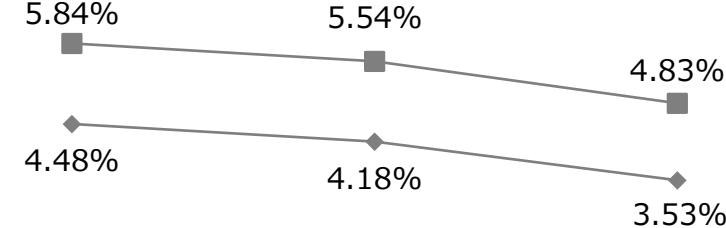
FY23

FY24

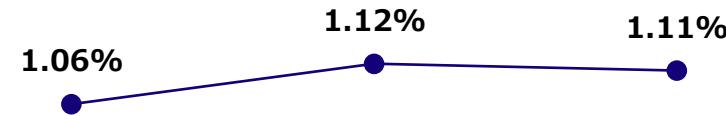
FY25/3Q迄

預貸金利回差²

- 貸出金利回…a
- ◆ 預金利回…b
- 預貸金利回差…a-b



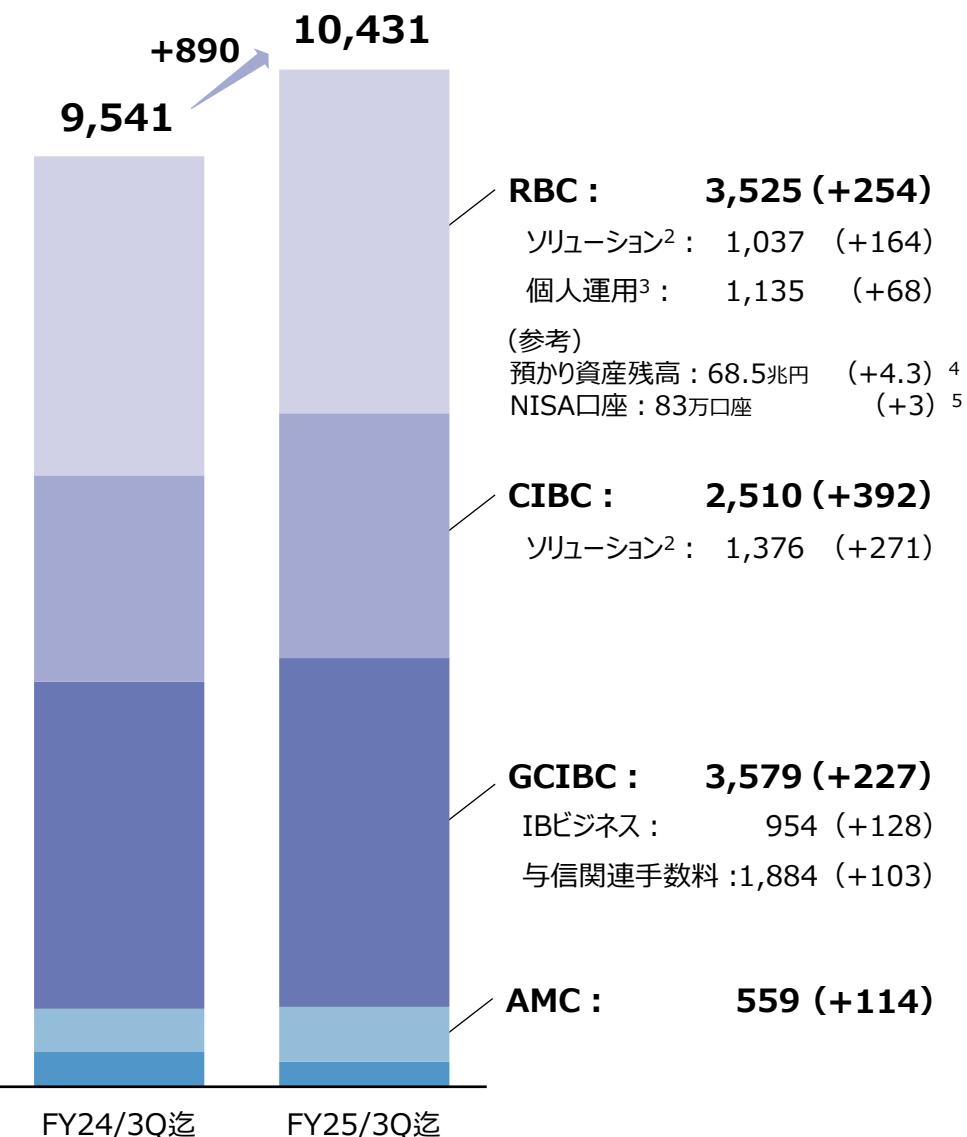
貸出金スプレッド



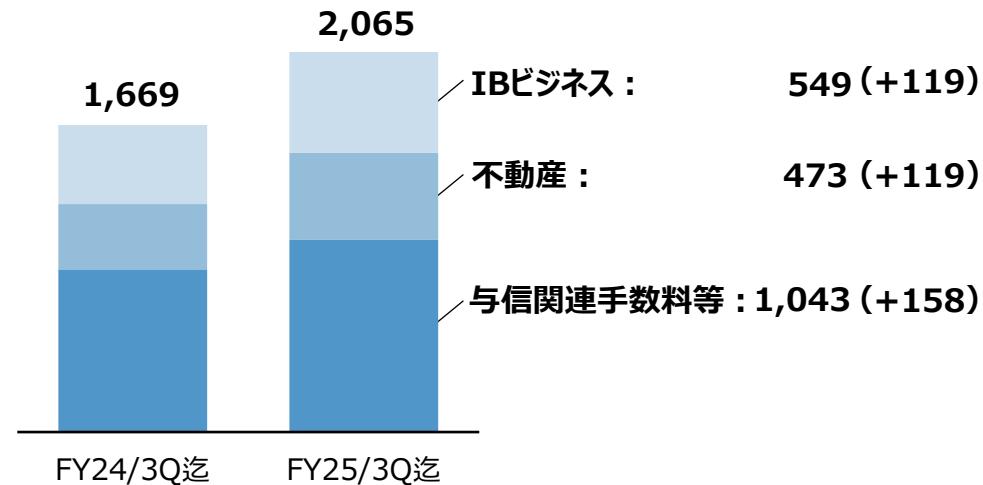
1. BK（含む中国、米国、オランダ、インドネシア、マレーシア、ロシア、ブラジル、メキシコ現地法人）、FY25管理会計ルール（FY23~24は遡及修正）、グループ内貸出金を除く 2. BK、国際業務部門

非金利ビジネス¹

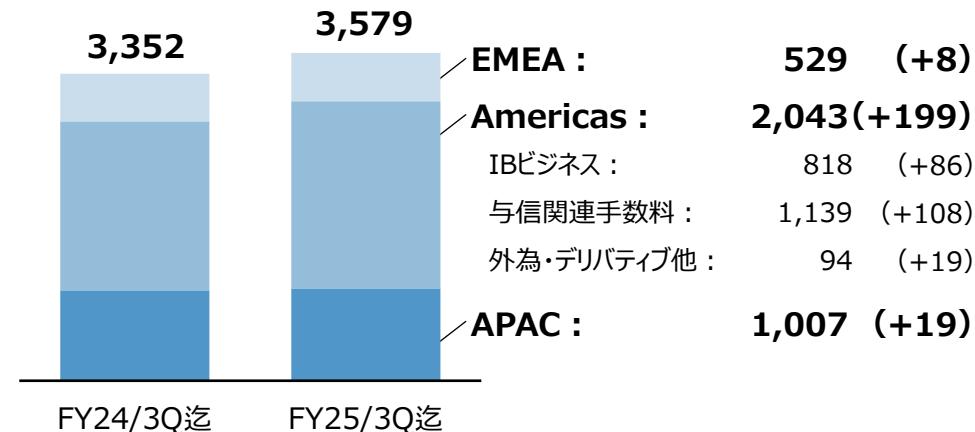
(億円、()内は前年同期比)



国内法人ソリューション収益内訳



GCIBC地域別内訳



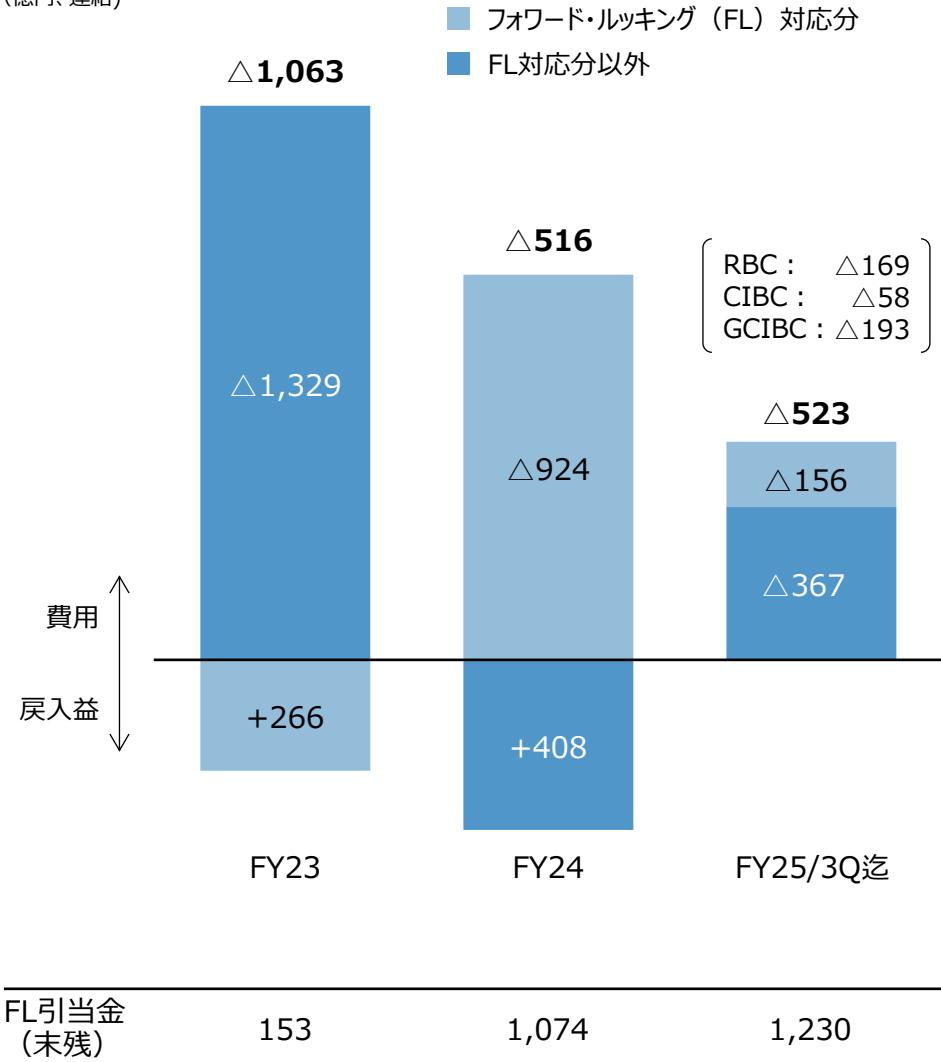
1. FY25管理会計ルール、過年度計数を遡及修正。変更前の計数は、FY24/3Q迄: 9,423億円 2. 投資銀行業務関連手数料、不動産仲介手数料を含む 3. BK投信・保険+SC個人セグメント、PBセグメント

4. SCJテール事業法人部門と2行合算（保険、投資信託（除くMMF）、外貨預金）の合計 5. BK+SC

アセットクオリティ

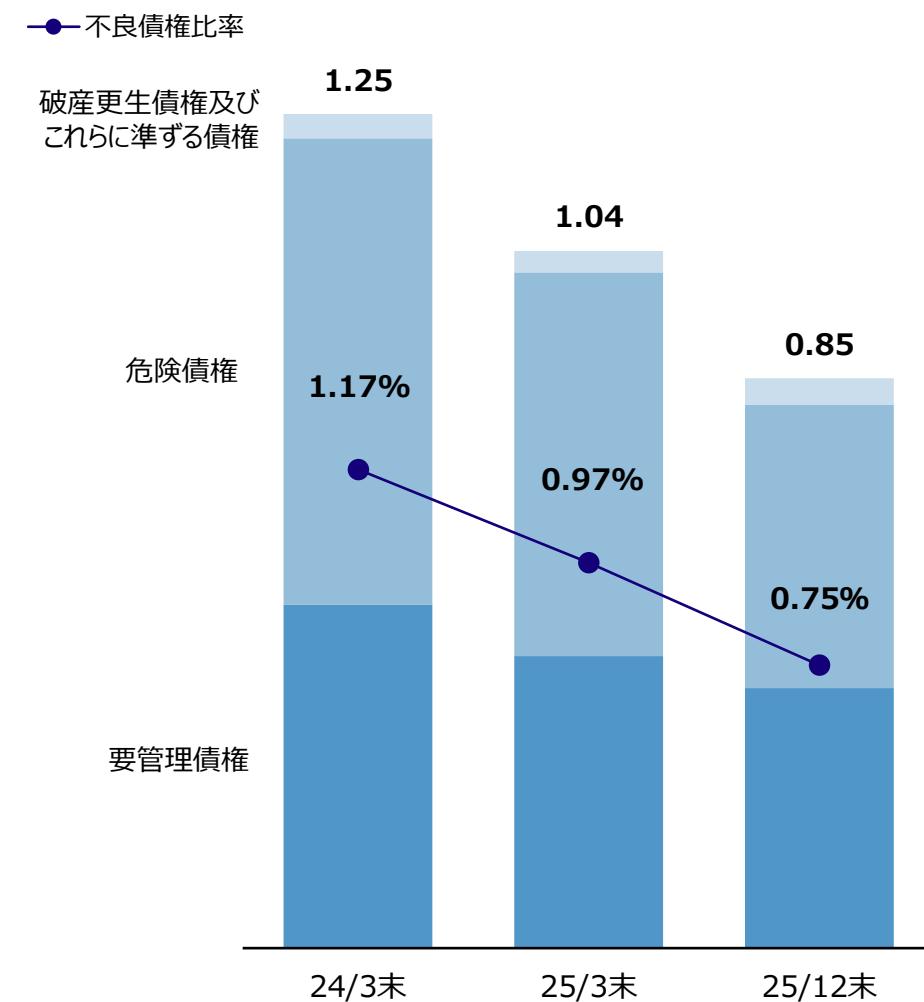
与信關係費用

(億円、連結)



銀行法及び再生法に基づく債権¹

(兆円、連結)



1. 信託勘定を含む

有価証券ポートフォリオ¹

その他有価証券

(億円、連結)

	取得原価		評価差額 ²	
	25/12末	25/3末比	25/12末	25/3末比
A 合計	329,562	+58,852	18,228	+5,789
B 株式	7,528	△645	23,558	+6,072
C 債券	151,653	+38,348	△1,802	△1,015
D うち国債	127,206	+43,315	△960	△783
E 外国債券	140,051	+15,036	△3,351	+71
F うち米国債 ³	78,136	△878	△2,995	+101
G その他	30,328	+6,111	△175	+660

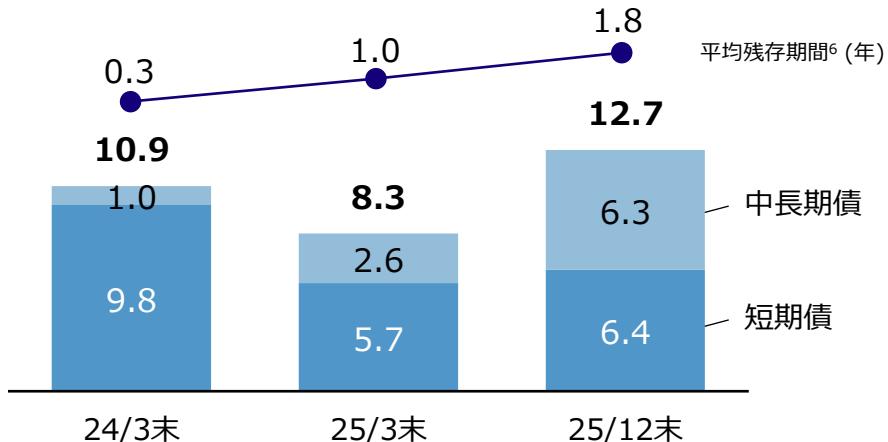
【株式削減】

	目標 (25/3-28/3)	実績（25/12末）	
		25/3末比	15/3末比
取得原価	3,500億円 以上削減	△737 (応諾込△1,276)	△11,744
みなし保有 株式 ⁴	2,000億円 見通し	△2,351	△11,585

1. その他有価証券で時価のあるもの、組合出資分を除く 2. 純資産直入処理対象分。繰延ヘッジ会計適用分のネット繰延損益を勘案 3. 米国債、GSE債 4. 一部、BK・TBの資産に計上されている金額を含む時価
5. 取得原価 6. 内部管理ベース。ヘッジ考慮後、除く満期保有目的債券

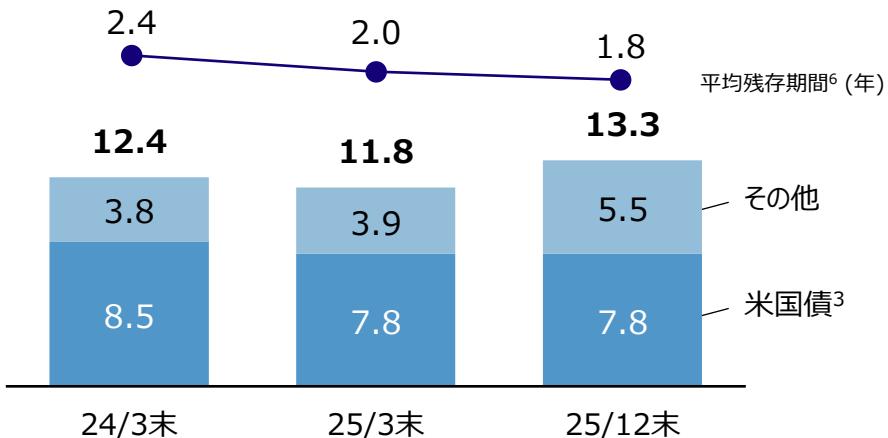
日本国債残高⁵

(兆円、2行合算)



外国債券残高⁵

(兆円、2行合算)

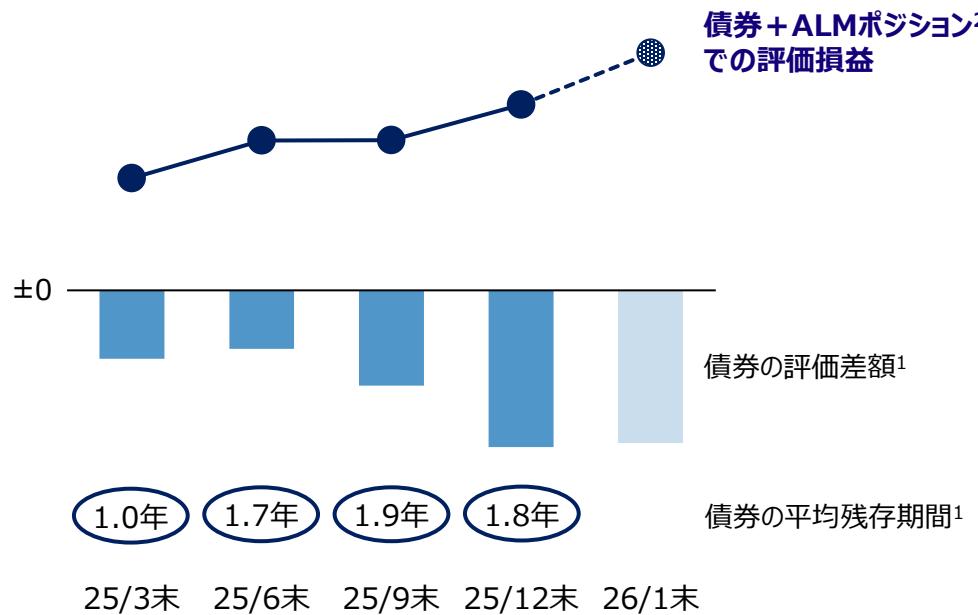


金利上昇による債券ポートフォリオへの影響

- 円債・外債とも、金利上昇を踏まえて、リスク抑制的なポートフォリオ運営を継続
- 平均残存期間についても、引き続き一定ゾーンのなかでコントロール、慎重なポジション運営を実施
- 加えて、的確なヘッジオペレーションやALM運営により、バンキング全体での評価損益をコントロール

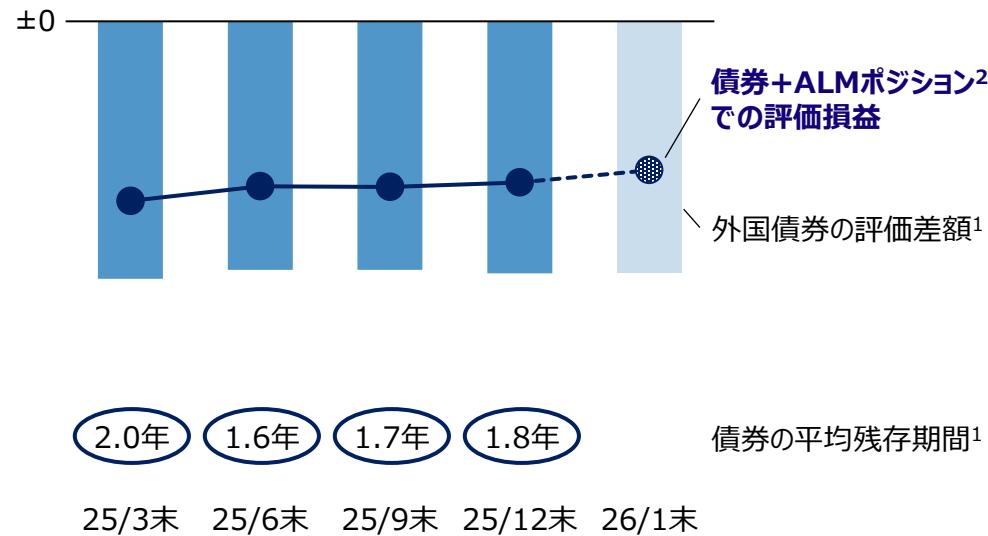
円貨

- 中長期金利上昇のなかでも、バンキング全体（債券+ALMポジション）の評価損益はプラスを維持、3Q以降も改善



外貨

- 慎重なオペレーションの継続により、評価損益は横ばいで防衛



1. その他有価証券。繰延ヘッジ会計適用分のネット繰延損益を勘案 2. 内部管理ベース

2025年度株主還元：追加の自己株式取得1,000億円を決議（通期では4,000億円）

株主還元

自社株式取得

(億円)

自社株取得累計額（上限）

FY25

11月開示比

4,000

+1,000

- 1,000億円を上限とする追加の自己株式取得を決議。
取得株式は全株消却予定

一株あたり配当金

(円)

中間配当金

FY25

11月開示比

72.5

±0.0

期末配当金（予想）

72.5

±0.0

年間配当金（予想）

145.0

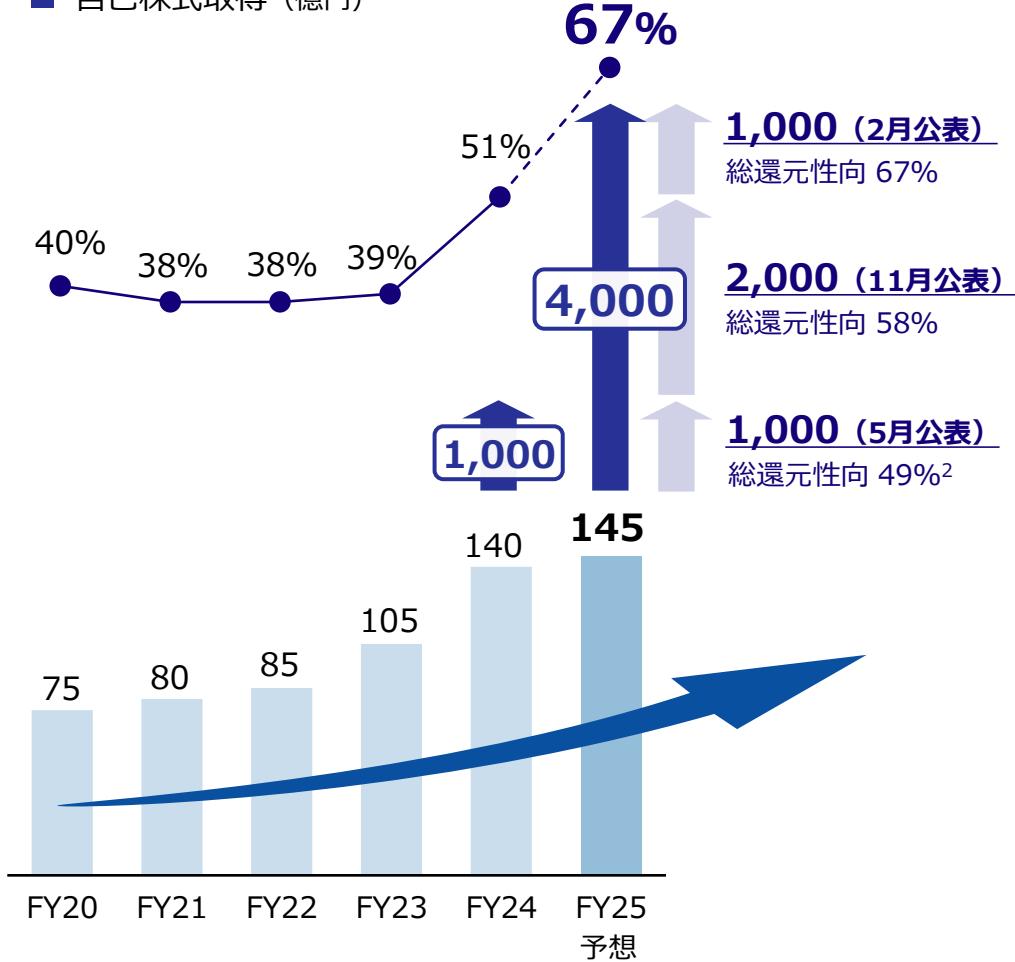
±0.0

- 期初予想を据え置き（前年度比+5.0円）

安定的な累進配当と機動的な自己株式取得

● 総還元性向 ■ 一株当たり配当金¹（円）

■ 自己株式取得（億円）



1. 20/10月に実施した株式併合の影響を考慮 2. 5月公表時

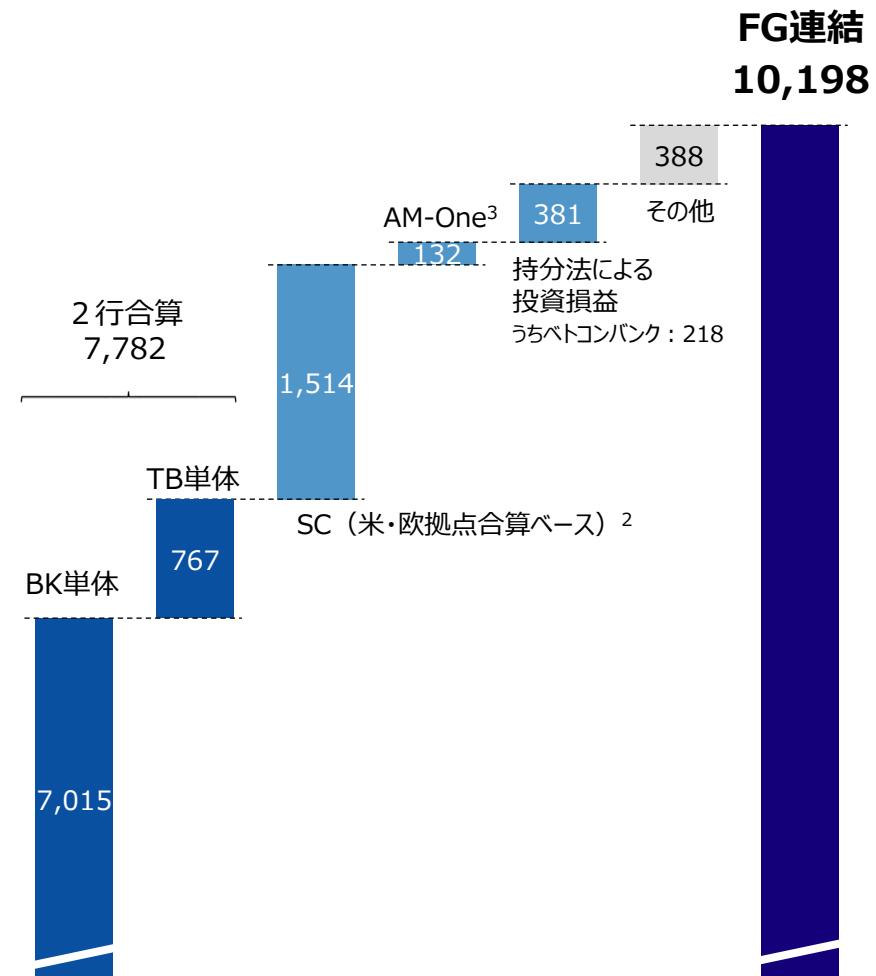
グループ会社別業績

(億円)

業務純益¹

	FY24/3Q迄	FY25/3Q迄	前年同期比
BK単体	6,177	7,865	+1,687
TB単体	170	588	+417
SC (米・欧拠点合算ベース) ²	1,809	1,939	+129
AM-One ³	172	177	+5
持分法による投資損益	386	381	△5
その他	924	530	△394
FG連結	9,642	11,482	+1,840

四半期純利益¹



四半期純利益¹

BK単体	6,013	7,015	+1,002
TB単体	235	767	+531
SC (米・欧拠点合算ベース) ²	1,269	1,514	+244
AM-One ³	114	132	+18
持分法による投資損益	386	381	△5
その他	534	388	△146
FG連結	8,553	10,198	+1,645

1. ETF関係損益等を含む。連結調整前の概数 2. SC連結計数に、連結対象会社でない米国みずほ証券等の米国拠点及び欧州みずほ銀行（証券部門）を含んだ社内管理ベース。米国拠点及び欧州みずほ銀行（証券部門）の計数は業務純益963億円、四半期純利益776億円 3. 連結、のれん等償却を除く

本資料には、事業戦略及び数値目標等の将来の見通しに関する記述が含まれております。こうした記述は、本資料の作成時点において、入手可能な情報並びに将来の不確実な要因に係る仮定に基づく当社の認識を反映したものであり、将来実現する保証はなく、実際の結果と大きく異なる可能性があります。

当社の財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、決算短信、有価証券報告書、統合報告書、Form 20-F等、当社が公表いたしました各種資料のうち最新のものをご参照ください。

組織の略称

FG :	みずほフィナンシャルグループ	RBC :	リテール・事業法人カンパニー
BK :	みずほ銀行	CIBC :	コーポレート&インベストメントバンキングカンパニー
TB :	みずほ信託銀行	GCIBC :	グローバルコーポレート&インベストメント
SC :	みずほ証券		バンキングカンパニー
AM-One :	アセットマネジメントOne	GMC :	グローバルマーケットカンパニー
		AMC :	アセットマネジメントカンパニー

為替レート

■ 管理会計 (FY25)		■ 財務会計 (期末TTM)		
	計画レート	24/12末	25/3末	25/12末
USD/JPY	140.00	158.17	149.53	156.54
EUR/JPY	145.36	164.86	162.03	184.26

計数の定義

財務会計

連結業務純益	: 連結粗利益 - 経費（除く臨時処理分）+持分法による投資損益等連結調整
ETF関係損益等	: ETF関係損益（2行合算）+営業有価証券等損益（SC連結）
経費（除く臨時処理分等）	: 経費（除く臨時処理分）-のれん等償却
経費率	: 経費（除く臨時処理分等）÷（連結粗利益 + ETF関係損益等）
親会社株主純利益	: 親会社株主に帰属する四半期純利益
2行合算	: BK単体+TB単体

管理会計

顧客部門	: RBC、CIBC、GCIBC、AMCの合計
市場部門	: GMC
グループ合算	: BK、TB、SC、および主要子会社等の合算
カンパニー別業務純益	: 業務粗利益+ETF関係損益-経費（除く臨時処理分等）+持分法による投資損益-のれん等償却